



遂に登場!!
カメラータの室内楽シリーズで、
フジコ・ヘミングがパノハSQと
シューベルトの「ます」を弾く!!

フジコ・ヘミング◎ピアノ
Fuzjko Hemming, piano

Panocha Quartet with Fuzjko Hemming



池松 宏◎コントラバス
Hiroshi Ikematsu, contrabass

パノハ弦楽四重奏団

～フジコ・ヘミングを迎えて～

2019年 11|21 日 19:00開演 (18:30開場)

 浜離宮朝日ホール

[都営大江戸線「築地市場駅」A2出口 徒歩3分]

- 全席指定: ¥12,000 (税込)
- 主催: (株)カメラータトウキョウ
- 協賛: 株式会社クリプトン  KRYPTON

★チケット取扱い:
カメラータトウキョウ

03-5790-5560
<http://www.camerata.co.jp>

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00-18:00)
イープラス(e+) <http://eplus.jp/>

ドヴォルジャーク | DVOŘÁK (1841-1904)

弦楽四重奏のための「糸杉」 B.152
CYPRESSES for String Quartet, B.152

弦楽四重奏曲 第12番 へ長調
作品96 B.179 「アメリカ」
String Quartet No. 12 in F Major, op.96 B.179 "THE AMERICAN"

シューベルト | SCHUBERT (1797-1828)

ピアノ五重奏曲 D.667 「ます」
Piano Quintet D.667 "TROUT"

●やむを得ない事情で曲目等が変更になる場合がありますのであらかじめご承知おき下さい。 ●未就学児の入場はご遠慮下さい。



パノハ弦楽四重奏団

PANOCHA QUARTET

弦楽器王国、アンサンブル王国として名高いチェコの誇る代表的なカルテットのひとつで、スメタナ四重奏団の育ての親でもあるヨゼフ・ミツカ教授の弟子のイルジー・パノハ（第1ヴァイオリン）、パヴェル・ゼイフェルト（第2ヴァイオリン）、ミロスラフ・セフノウトカ（ヴィオラ）、ヤロスラフ・クールハン（チェロ）によって1968年にブラハ音楽院在学中に結成され、1971年から正式な活動を開始し、同年国際弦楽四重奏コンクール（ブラハ）にて栄えある第1位を獲得。1980年に初来日を果たす。ヨーロッパ全土はもとより、アメリカ、カナダ、ニュージーランド、オーストラリア、日本などの海外においても演奏会を行い、エジンバラ、ザルツブルク、ブラハ、メントン、テルアビブ、クフモ、モントーゼなどの国際フェスティバルに招かれ、日本でも1998年から毎年、草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルに招待され、この音楽祭を代表する弦楽四重奏団として活躍するほか、全国ツアーを行い多くのファンを魅了している。

イルジー・パノハ◆第1ヴァイオリン

Jiri Panocha, 1st violin

1950年クラドノ生まれ。8歳よりヴァイオリンを始め、10歳でオーケストラと共演しデビュー。12歳でプラチスラヴァの青年創作活動コンクール優勝。翌年からミツカ教授に師事。1966年から1972年までブラハ音楽院に在学。ソリストとしては1969年チェコ文化省主催独立50周年記念コンクールで優勝し、国内外で数多くのリサイタルを行う。1972年西ドイツで開催されたカラヤン主宰の室内オーケストラのコンクールでは、コンサートマスターとして第1位金賞を受賞。カラヤン指揮で行われたコンサートマスターのコンクールでも優勝する。1972年からは、ブラハ音楽アカデミーでスメタナ弦楽四重奏団のアントニン・コホウトに師事し、研鑽を積んでいる。

パヴェル・ゼイフェルト◆第2ヴァイオリン

Pavel Zejfart, 2nd violin

1952年ブラハに生まれる。2歳頃から天才的な音楽性をあらわし、歌を楽しむ傍ら音楽学校のピアノ科へ入学。パノハのヴァイオリンを聴いて衝撃を受け、11歳でヴァイオリンを始める。1967年から1972年までブラハ音楽院に学び、チャペク、ミツカ両教授に師事し、1968年からパノハ弦楽四重奏団に参加。1972年から1977年までブラハ音楽アカデミーで学ぶ。

ミロスラフ・セフノウトカ◆ヴィオラ

Miroslav Sehnoutka, viola

1952年ブラハ生まれ。7歳からヴァイオリンを始めるが、その後ミツカ教授の勧めでヴィオラを始め、普通中学・高校に通いながらボミール・マリイ教授に師事する。1970年から1977年までブラハ音楽アカデミーにてスメタナ弦楽四重奏団のミラン・シュカンパに学ぶ。前任者の病氣を受けて1971年からパノハ弦楽四重奏団のメンバー。

ヤロスラフ・クールハン◆チェロ

Jaroslav Kulhan, violoncello

1950年チェスケー・ブジェヨピツェ生まれ。11歳から本格的に音楽を学び、R.ビーザにチェロの手ほどきを受けた後、1966年からブラハ音楽院で学ぶ。在学中は室内オーケストラのソロ・チェリストとして活躍し、1968年からパノハ弦楽四重奏団のメンバーとなり、

1972年からはブラハ音楽アカデミーに進む。チェコ・フィルハーモニーのヨセフ・ネコラに室内楽を学び、ブラハ音楽院、音楽アカデミーを通じてヨセフ・フッフロに師事する。

フジコ・ヘミング◆ピアノ

Fuzjko Hemming, piano

スウェーデン人の父と日本人の母のもとベルリンに生まれ、5歳で日本へ移住。10歳から名教師レオニード・クロイツァーに師事し、17歳でコンサート・デビューする。東京藝術大学在学中に、毎日コンクールに入賞し、文化放送音楽賞を受賞。その後日本のオーケストラと共演。20歳で再びベルリンに留学するが、順風満帆ではなく、風邪薬の副作用で聴力を失うというアクシデントに見舞われる。

1992年2月に放送されたNHK-TV「フジコ〜あるピアニストの軌跡」にて取り上げられた後、日本ビクターに録音したCD「奇蹟のカンパネラ」が大ヒット。2001年6月に行なったカーネギーホールでのコンサートが不成功し、翌年からヨーロッパの主要各都市でのコンサートに招かれ、アメリカでもロサンゼルス、シアトルなどで多数の公演を行なう。2007年2月にはカーネギーホールで2度目のコンサートを行なう。

「猫と音楽は、私にとって人生そのもの」と語るとおり、日本の自宅にはいつも20匹以上の猫が同居し、またバリでも6匹の猫とともに暮らしている。

池松 宏◆コントラバス

Hiroshi Ikematsu, contrabass

1964年ブラジル生まれ。19歳よりコントラバスを始める。桐朋学園大学卒業。NHK交響楽団首席奏者を経て、2006年からニュージーランド交響楽団首席奏者に就任。2014年に帰国し、現在は東京都交響楽団首席奏者として活躍している。紀尾井ホール室内管弦楽団、東京アンサンブル、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバー。後進の指導にも力を注いでおり、現在、東京藝術大学教授、国立音楽大学客員教授を務めている。

浜離宮朝日ホール

▶アクセス
東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞東京本社 新館2階
TEL 03-5541-8710
「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ
※エレベーターはA3出口

パノハ弦楽四重奏団／フジコ・ヘミングのCD◎好評発売中



チェコを代表するカルテット、パノハ弦楽四重奏団珠玉のドヴォルジャーク
**ドヴォルジャーク:
弦楽四重奏曲 第8番&第9番**
パノハ弦楽四重奏団

●ドヴォルジャーク:
弦楽四重奏曲 第8番 ホ長調 作品80 B.57
弦楽四重奏曲 第9番 ニ短調 作品34 B.75
[CD] CMCD-28311 ¥2,800(+税) ■録音:2014年3月 ほか/ブラハ
★「レコード芸術」2014年10月号【特選】



**ドヴォルジャーク:
弦楽四重奏曲のための「糸杉」
B.152、弦楽四重奏曲 第13番**
[CD] CMCD-28206 ¥2,800(+税)
★「レコード芸術」2010年8月号【特選】



**スメタナ: わが生涯より
ゾンマー: 弦楽四重奏曲 第1番**
[CD] 28CM-636 ¥2,800(+税)
★「レコード芸術」2001年9月号【準特選】



**ドヴォルジャーク:
弦楽四重奏曲
第12番「アメリカ」&第11番**
[CD] CMCD-28025 ¥2,800(+税)
★「レコード芸術」2003年10月号【特選】



**ライヒャ:
ホルン五重奏曲 &
クラリネット五重奏曲**
ペーター・シュミードル(クラリネット)
ラルス・ミヒャエル・ストランスキー(ホルン)
パヴェル・ネイテック(コントラバス)
[CD] CMCD-28024 ¥2,800(+税)
★「レコード芸術」2003年9月号【特選】
★朝日新聞「試聴室」【推薦】
★毎日新聞「今月私の3枚」【推薦】



**ドヴォルジャーク:
弦楽四重奏曲
第10番&第14番**
[CD] CMCD-28093 ¥2,800(+税)
★「レコード芸術」2005年12月号【特選】



大ヒット中
フジコ・ヘミング
待望のコンチェルト
最新ヨーロッパ録音!

**フジコ・ヘミング
リスト: ピアノ協奏曲 第2番&ソロ**

●リスト: ピアノ協奏曲 第2番 イ長調 LW-H6(S125)
ため息〜「3つの演奏会用練習曲」より第3番 LW-A118/3(S144/3)
ラ・カンパネラ〜「バガニーニ大練習曲」より第3番 LW-A173/3(S141/3)
●ドヴォルジャーク: 「スラヴ舞曲 第1集」作品46より
第4番 ソウゼツカー へ長調、第6番 ソウゼツカー ニ長調
●ショパン: 練習曲 変イ長調 作品25-1
●ラフマニノフ: 前奏曲 卜長調 作品32-5
マリオ・コシック(指揮) / プラチスラヴァ交響楽団
[CD] CMCD-28354 ¥2,800(+税) ■録音:2017年9月 / スロヴァキアほか



【猫の絵のCDブック】
吾輩はピアノを聴く猫である
あなたの猫と一緒に聴く画集
●助川敏弥: ちいさきいのちのためにほか
フジコ・ヘミング(ピアノ / 表紙イラスト)ほか
【書籍付きCD】CMBK-30004 ¥2,300(+税)